



2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社アスア 上場取引所 東 名
コード番号 246A URL <https://www.asua.ne.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 間地 寛
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 管理本部長 （氏名） 植村 恒明 TEL 052 (452) 5588
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年6月期第3四半期の業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年6月期第3四半期	1,070	8.6	149	55.7	127	30.4	79	19.7
2024年6月期第3四半期	986	—	96	—	97	—	66	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	32.11	31.25
2024年6月期第3四半期	31.88	—

- （注）1. 当社は、2023年6月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2024年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2024年9月26日に東京証券取引所グロース市場及び名古屋証券取引所ネクスト市場に上場したため、2025年6月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2025年6月期第3四半期の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年6月期第3四半期	1,449	1,021	70.5
2024年6月期	1,166	571	49.0

（参考）自己資本 2025年6月期第3四半期 1,021百万円 2024年6月期 571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	5.70	5.70
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期（予想）				5.66	5.66

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年6月期の業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,431	5.0	205	25.2	188	12.6	136	15.8	56.62

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期3Q	2,684,200株	2024年6月期	2,075,000株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	－株	2024年6月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年6月期3Q	2,466,768株	2024年6月期3Q	2,075,000株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果、インバウンド需要の増加等により経済活動の持ち直しの動きが見られました。しかしながら、国内では円安や物価上昇の継続が個人消費に影響を与えている状況に加え、海外では米国の政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等に注視していく必要があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社は、この急速に変化する外部環境に迅速かつ柔軟に対応し、持続的な成長を実現するための取組みを行うとともに、中長期的な企業価値向上の実現に向けて、全社一丸となって諸施策を推進しております。特に主力事業であるコンサルティング事業の対象顧客である物流業界においては、2024年問題への対応や物流の構造改善のために、物資の流通の効率化に関する法律と改正貨物自動車運送事業法の「新物流2法」が成立するなど変革期を迎えております。特に管理者選任や定期講習が重要視されるなど安全対策への対応がより強化されることから、当社サービスの販売促進などを中心に事業規模の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,070,677千円（前年同期比8.6%増）、営業利益は149,538千円（同55.7%増）、経常利益は127,716千円（同30.4%増）、四半期純利益は79,207千円（同19.7%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①コンサルティング事業

対象顧客である物流業界は、2024年問題や2025年4月1日に施行された「新物流2法」（物資の流通の効率化に関する法律、改正貨物自動車運送事業法）により、物流業界は変革期を迎えております。そのような背景もあり、コンサルティングサービス「TRYESサポート」が順調に推移したこと、安全活動支援の定額クラウドサービス「TRYESレポート」の販売が拡大したことなどから、売上高は増加いたしました。

以上の結果、コンサルティング事業の売上高は558,027千円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は213,768千円（同9.9%増）となりました。

②CRMイノベーション事業

モビリティ領域におけるメッセージングサービスは順調に推移しているものの、システム開発案件にて納品の一部が遅延したため、売上高は減少いたしました。

以上の結果、CRMイノベーション事業の売上高は183,134千円（前年同期比20.8%減）、セグメント利益は57,958千円（同0.5%減）となりました。

③通信ネットワークソリューション事業

顧客事業所内で使用されるビジネスフォン、複合機及びネットワーク関連機器の販売が好調に推移したことから、売上高は増加いたしました。

以上の結果、通信ネットワークソリューション事業の売上高は329,516千円（前年同期比35.4%増）、セグメント利益は67,655千円（同62.9%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては1,449,825千円となり、前事業年度末に比べ283,081千円増加いたしました。この主たる要因は、新規上場に伴う新株発行等により現金及び預金が296,281千円増加したこと等によります。

（負債）

当第3四半期会計期間末の負債につきましては428,249千円となり、前事業年度末に比べ167,068千円減少いたしました。この主たる要因は、短期借入金が85,000千円、契約負債が34,167千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が40,375千円、それぞれ減少したこと等によります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては1,021,575千円となり、前事業年度末に比べ450,149千円増加いたしました。この主たる要因は、上場に伴う新株発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ188,260千円増加したこと等によります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の業績予想につきましては、2024年9月26日公表の「東京証券取引所グロース市場及び名古屋証券取引所ネクスト市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	556,209	852,490
受取手形、売掛金及び契約資産	201,801	182,988
電子記録債権	632	1,203
商品	8,848	8,945
仕掛品	701	503
貯蔵品	291	3,051
その他	7,818	15,410
貸倒引当金	△78	△71
流動資産合計	776,224	1,064,521
固定資産		
有形固定資産	162,462	161,796
無形固定資産	52,777	66,420
投資その他の資産		
その他	175,470	157,359
貸倒引当金	△192	△272
投資その他の資産合計	175,278	157,086
固定資産合計	390,518	385,303
資産合計	1,166,743	1,449,825

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	30,753	32,158
短期借入金	140,000	55,000
1年内返済予定の長期借入金	47,250	18,125
未払法人税等	21,287	7,078
契約負債	172,064	137,896
賞与引当金	21,304	17,300
その他	106,592	114,760
流動負債合計	539,252	382,319
固定負債		
長期借入金	39,750	28,500
退職給付引当金	16,315	17,430
固定負債合計	56,065	45,930
負債合計	595,317	428,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	40,000	228,260
資本剰余金	9,750	198,010
利益剰余金	516,317	583,697
株主資本合計	566,067	1,009,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,358	11,607
評価・換算差額等合計	5,358	11,607
純資産合計	571,426	1,021,575
負債純資産合計	1,166,743	1,449,825

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	986,005	1,070,677
売上原価	545,066	611,361
売上総利益	440,938	459,315
販売費及び一般管理費	344,894	309,777
営業利益	96,043	149,538
営業外収益		
受取利息	6	400
受取配当金	70	91
物品売却益	192	977
受取返還金	1,030	-
助成金収入	1,000	-
その他	1,114	164
営業外収益合計	3,413	1,633
営業外費用		
支払利息	1,491	1,231
上場関連費用	-	13,546
株式交付費	-	7,492
その他	0	1,185
営業外費用合計	1,491	23,455
経常利益	97,964	127,716
特別利益		
固定資産売却益	1,803	277
特別利益合計	1,803	277
税引前四半期純利益	99,768	127,994
法人税、住民税及び事業税	17,632	18,546
法人税等調整額	15,988	30,239
法人税等合計	33,621	48,786
四半期純利益	66,146	79,207

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2023年7月1日 至2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング事業	CRMイノベーション事業	通信ネットワークソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	511,501	231,146	243,357	986,005	—	986,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	511,501	231,146	243,357	986,005	—	986,005
セグメント利益	194,495	58,224	41,541	294,261	△198,217	96,043

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自2024年7月1日 至2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンサルティング事業	CRMイノベーション事業	通信ネットワークソリューション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	558,027	183,134	329,516	1,070,677	—	1,070,677
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	558,027	183,134	329,516	1,070,677	—	1,070,677
セグメント利益	213,768	57,958	67,655	339,383	△189,844	149,538

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年9月26日付で東京証券取引所グロース市場及び名古屋証券取引所ネクスト市場に上場いたしました。上場にあたり、2024年9月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式450,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ140,760千円増加しております。また、2024年10月29日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式142,500株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ44,574千円増加しております。

その他、新株予約権の行使による増加も含めた結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が228,260千円、資本剰余金が198,010千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自2023年7月1日 至2024年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2024年7月1日 至2025年3月31日)
減価償却費	12,525千円	15,086千円